



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年03月03日 第1208号「週刊五十嵐レポート」

## 売上＝客数×客単価

最近の日経新聞の記事を読む。

2月28日付「出生数最少72万人」という記事。2024年に日本で生まれた子どもの数(外国人を含む)は前年比5.0%減の72万988人だった。9年連続で過去最少を更新し、日本人だけに限れば70万人を割る公算。死亡数は161万8684人、出生と死亡の差である自然減は89万7696人で過去最多。

同日付「婚姻数戦後2番目の少なさ」という記事。2024年の婚姻数は前年比2.2%増の49万9999組で2年ぶり前年を上回ったが、過去最低水準にある。コロナ禍の影響で潜在的に失われた婚姻数は4万組、出生数は17.9万人に上ると言われている。

2月22日付「大学 迫る35年の崖」という記事。大学の淘汰が本格化する。2035年以降に急減し、50年に現在の7割になる。大学進学者数の推計では、当面は60万人程度で推移し、35年から毎年1万～4万人弱のペースで減少。50年には21年比で3割減の41万人になる。

ニッセイ基礎研究所によると、少子化でもランドセル市場は拡大というレポート。2013年から2023年にかけて小学1年生の人口は108.8万人から96.3万人へ減少。ランドセルを背負う子どもの数は約1割減っているが、ランドセルの平均価格が3.96万円から5.85万円へと1.5倍上昇していることでランドセル市場は431億円から563億円へと拡大している。

出入国管理庁によると、2024年6月末現在における在留外国人数は、358万8,956人となり、前年末(341万992人)に比べ、17万7,964人(5.2%)増加。

総務省によると、2024年1月の人口では、住民の「10人に1人」が外国人である市区町村が前年の2倍近くの14に拡大。都市から地方まで幅広い地域で外国人が産業を支えている。

私の地元江戸川区は外国人住民数、全国市区町村で10位。特にインド人は約7000人で全国市区町村で1位。インド人向けに特化した不動産会社が現れた。工務店でも英語・ヒンディー語で対応する会社が出てきた。

売上＝客数×客単価。どう客数を増やすか。どう客単価を上げるか。

ちよつと  
気になる出来事

2月25日付日経新聞、「最後の不採算店が閉鎖」という記事。

セブン&アイ傘下のイトーヨーカ堂は構造改革の一環で計画していた一連の店舗閉鎖を24日に完了。セブン&アイはイトーヨーカ堂などを抱える中間持ち株会社を売却するにあたり、米ファンドのベインキャピタルに優先交渉権を与える見通し。3月末までの合意を目指す。

ダイエーがなくなり、イトーヨーカ堂も外資へ身売り。総合スーパーというものが消えていく。これも時代の流れ。正に栄枯盛衰。私の地元である小岩(JR小岩駅前)にイトーヨーカ堂が出来たのが1980年前後、当時大学生だった私がアルバイトをしていた。またイトーヨーカ堂津田沼店は当時日本で一番売っていたイトーヨーカ堂だった。それが閉店となった。

世の中は時代と共に変化する。イトーヨーカ堂を見ていると正にその通り。「栄枯盛衰」とは昔も今も変わらない。

自らの経営では上手くいかなかったものを外部である外資系で経営再建を託す。経営改革は内部からは変えられないことが多い。新しい血を入れていく。イトーヨーカ堂がどう変わっていくか見てみたい。



一口メモ  
知識

## 一日を精一杯生きる

日(ひ)、中(ちゅう)すればすなわち辰(かたむ)き、月盈(み)つればすなわち食(か)く。天地の盈虚(えいきよ)は、時と消息す。

(雷火豊らいかほう)

雷火豊(らいかほう)は豊かな時をいかに保つかを説く卦である。

太陽は中天に上れば、次に必ず西に傾く。月が満ちれば必ず欠ける。満ちるも欠けるも時と共に変化していく。

人も栄枯盛衰を免れないが、憂いてもしかたがない。豊かで盛んな勢いを失わないよう、日々できるかぎり努力して、明知・洞察の力を磨き、行動することである。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

